

アクションプラン中間評価

今年度の重点目標達成のための行動計画（アクションプラン）に関する指標についてまとめたのが以下のグラフである。

ご覧のとおり、1「自尊感情を高める教育活動の推進」、2「対話を重視した学び合いの充実」ともに保護者は概ね目標値に近づいてはいるが、生徒自身の自己評価は目標値には15ポイント以上届いていない。特に2の「授業の中でよく考え、意見や考えを発表する」に関しては、肯定的に評価した生徒が半数にも満たない結果が出た。「仲間と対話しながら関わって学んでいる」については、ほぼ目標値に達していることから、教師が今年度の目標を意識して授業構成を考えて実施している結果、多くの生徒が友達との対話から学ぶことができていると実感してはいるが、対話から学んだことを自らの言葉で発表したり、全体で議論したりするところまでは至っていない現状が明らかとなった。

この項目については、教師自身の評価も肯定的な評価が63.6ポイントと決して高くはないことから、今後は、対話しながら学んだことを全体の場で発表したり、議論したりする場面を意図的に多く設定するなどの工夫が必要である。また、考えたことを書いてまとめる時間を確保するなどして、自信をもって発表できるようにする配慮も必要である。生徒に今回の評価結果を示し、自ら進んで発表できるようにする意識付けや意欲付けをすることも極めて重要と考える。

R1 学校評価(アクションプラン) 7月 (生徒、保護者、教員の比較)

重点目標 「主体的・協働的な学びを通して、生徒の社会性と学力を高める」

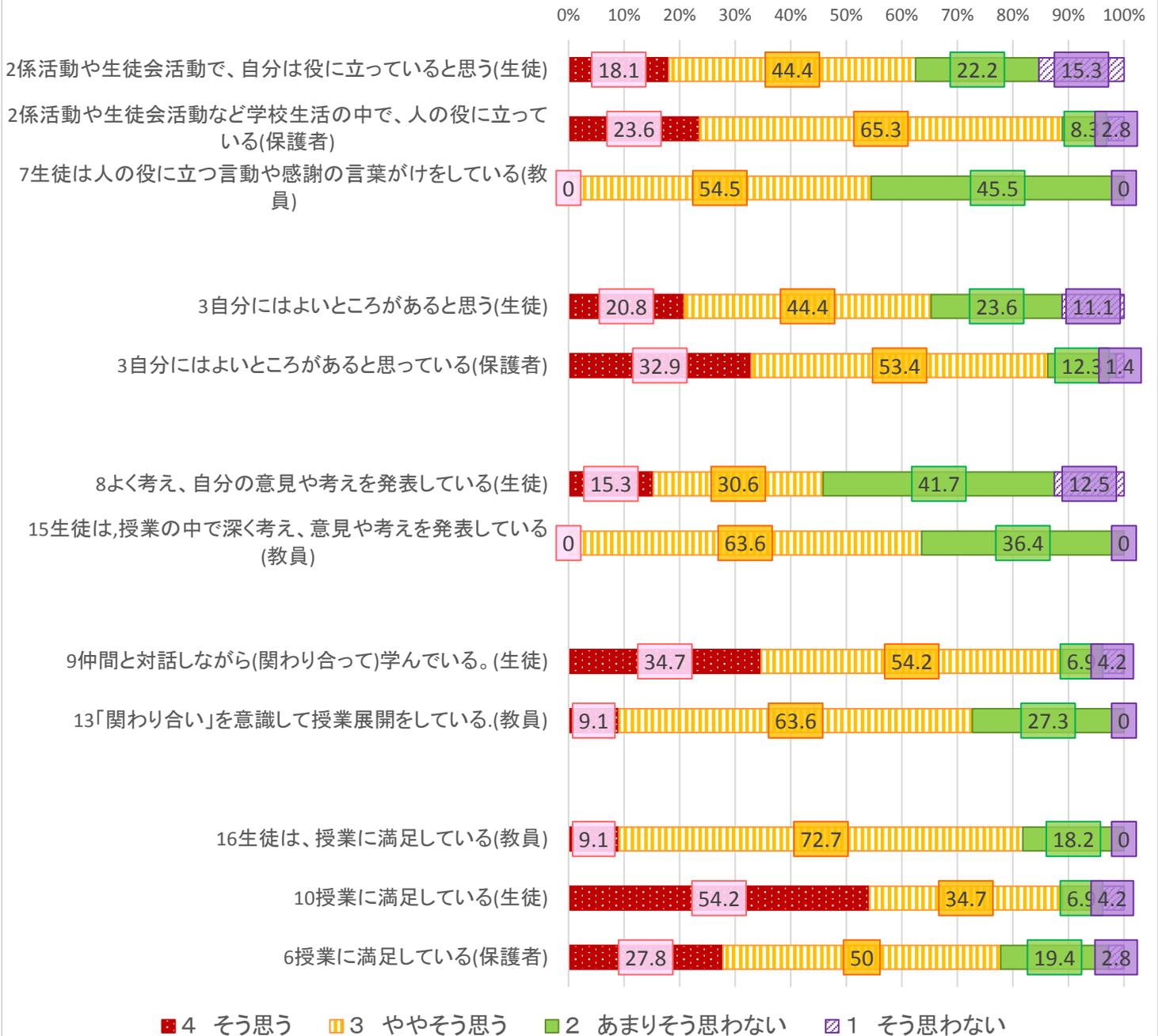
－ 自尊感情を高め、学び合いを充実させる －

1 自尊感情を高める教育活動の推進

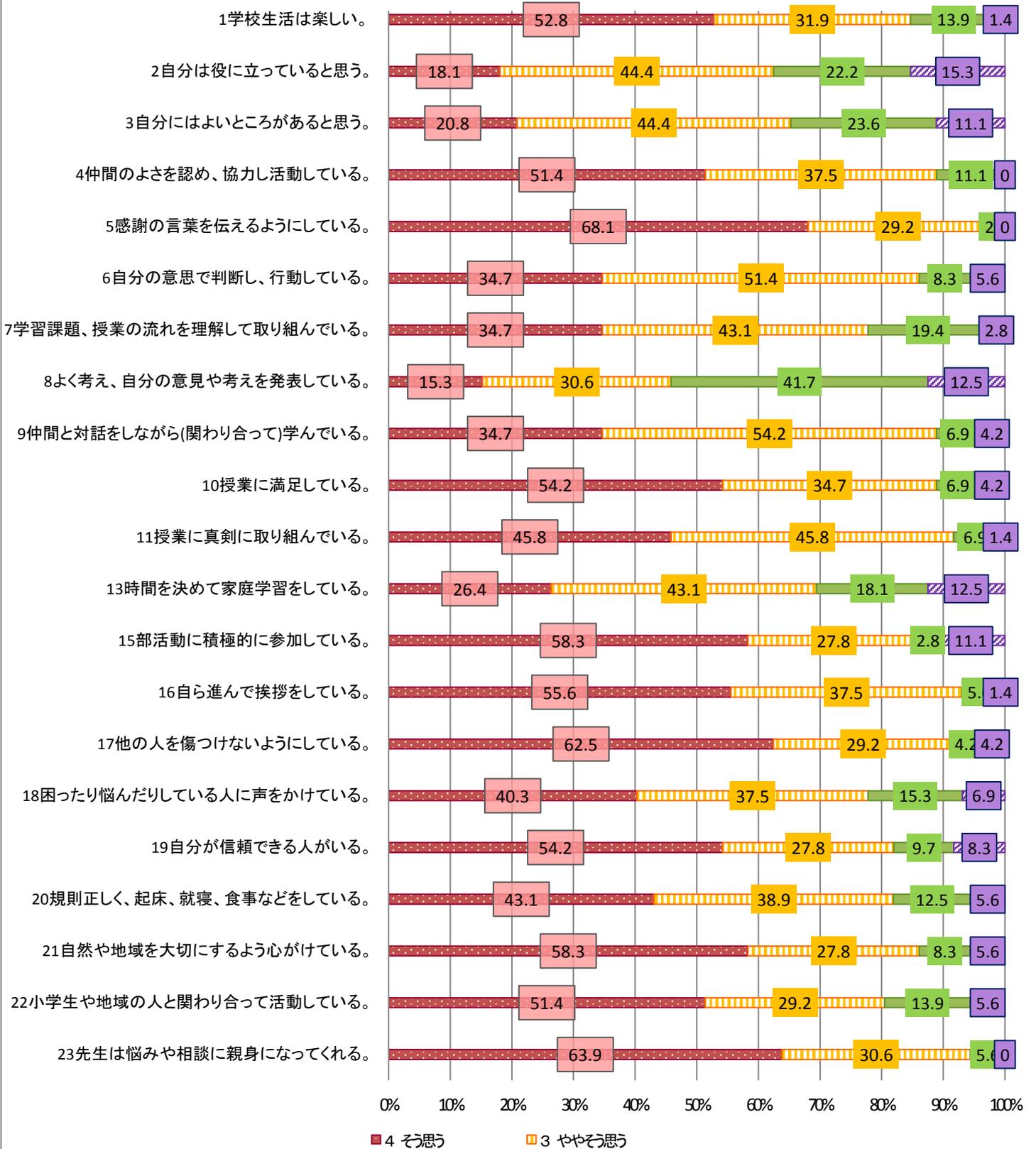
左が目標値、()内は7

月の結果

・係活動や生徒会活動で、自分(子供)は役に立っていると思う…………… 生徒 80% (63%) × 保護者 90% (89%) △



令和元年度 学校評価 生徒集計結果 7月調査



R1 学校評価 保護者集計結果 7月調査

